

占冠村産100%メープルシロップを発売 販売会で商品PR



販売会では、来年以降の商品開発につながるため、商品PRやアンケート調査も行われました。

12月23日、メープルシロップ販売会が道の駅「自然体感しむかつぶ」で行われ、占冠村産100%のメープルシロップが発売されました。

悪天候にも関わらず、販売会開催を知り遠方より駆けつけた来場者も見られ、国産メープルシロップに高い関心を持った方々からの反響がありました。

村の 出来事

12月・1月

村内の出来事、話題 をお届けします

📷のマークがついている記事は、占冠村HPの「動くしむかつぶ」で見ることができます。

堀江さん スキー中体連 全国大会出場！



1月12日～14日に札幌市で開催された第49回北海道中学校スキー大会アルペン競技において、堀江伽倉さん（占冠中2年）が、回転で7位の入賞を果たし、全国大会出場の切符を手に入れました。

堀江さんからは「絶対に緊張すると思うが、攻めていくこと、重要となる1本目の滑りで上位に入ること意識して、精一杯頑張りたい。全国レベルに挑戦し、自分の位置も確認したい。」と大会への意気込みを語りました。

第54回全国中学校スキー大会は、2月2日～5日山形県で開催されます。

子どもカルタ大会



1月14日、子どもカルタ大会が、コミュニケーションプラザで開催されました。

子ども会育成協議会が主催する大会で、5チーム16人が参加し、熱戦を繰り広げました。

子どもたちは、百人一首を読み上げる声に集中し、札を取る時の元気な「はい」という声を響かせながら、日本の伝統「百人一首」を楽しみました。



地域おこし協力隊
佐々木 絢子
(ささき あやこ)
(企画商工課)



地域おこし協力隊
水野 佑紀
(みずの ゆうき)
(企画商工課)

新しい地域おこし協力隊員
をご紹介します

【1月16日付】

災害に備えて 避難訓練の検証結果

11月26日に実施した避難訓練について役場各課で検証を行った結果、開催時期や情報伝達、避難手段など様々な課題が出されました。検証結果の主な内容をお知らせします。

課題	対応等
<p>【冬季訓練の実施・防寒対策】</p> <p>①訓練を9月1日（防災の日）にこだわることも大事だが、冬季の訓練実施も必要である。</p> <p>②災害が冬期間の場合、停電などで暖房器具が使用できないことも想定され、電気を使用しない暖房器具の導入（たとえば薪ストーブなど）の検討も必要である。</p>	<p>①災害はいつ起こるかわからず、冬の暴風雪の影響により長時間停電することも考えられます。避難所も停電の影響により寒くなることが予想されるため、冬季の訓練を考慮することも必要と考えます。</p> <p>②冬期間の停電に備え、薪を購入しています。また、石油ストーブ（乾電池）の購入も進めており、今後も各避難所に設置できるよう計画的に購入していきます。</p>
<p>【住民への情報伝達】</p> <p>①特に雨の日には広報車の音が聞こえないと指摘されており広報車巡回は行わなければならないが、何か工夫が必要である。</p> <p>②占冠村メール配信サービスも情報伝達の一つであるが、住民には、携帯のインターネット契約をしていない、Eメール契約をしていない方が多いため、受信も登録もできない方がいる。</p>	<p>①他自治体でも、防災無線や広報車の声が聞こえないとの苦情が出ています。広報車や占冠村メール配信サービスや村HPでの周知だけではなく、住民には役場からの指示を待たずに避難することを今後呼びかけます。</p> <p>②占冠村メール配信サービスにとどまらず、電話連絡、広報車での周知、さらには新しい方策も検討する必要があります。</p>
<p>【避難の手段】</p> <p>①高齢者一人世帯に関し、事前に声かけする人や、近所同士、車で乗り合わせるなど行政区や地域での動きを進め、役場と行政区との連携を強化する必要がある。</p> <p>②避難用バスは、実際の災害時を考えると現実的ではない。自力での避難困難者は、事前登録か連絡をもらって直接迎えに行く方が確実に有効ではないか。 また、広報中に住民から「バスを待っていたが来ない」と声をかけられ、広報車に乗せたが、自主避難やバスでの避難の徹底が必要である。</p>	<p>①役場で全ての対応は困難であるため、地域での「共助」をお願いします。昨年度より、各行政区に自主防災組織の立ち上げを依頼しています。現在、幾つかの行政区で自主防災組織を立ち上げ、トマムにおいては避難訓練を実施しています。</p> <p>②避難困難者は、要援護者と捉え、避難準備情報が出た時点で保健福祉課で避難させることとしています。その際にバスを利用しますが、乗車が困難な方は個別に対応します。また、清流大学での災害講演や様々な機会に、役場からの指示を待つのではなくまず自分たちで避難することの周知を進めています。自力で避難できる方は避難準備情報の段階で余裕を持って避難してもらうことが重要と捉えます。</p>
<p>【その他】</p> <p>①南富良野町での空知川の堤防決壊について、占冠村も他人事ではなく対策を考えていかなければならない。</p> <p>②大雨災害時の下水処理場付近は夜には水位も見えなく流される危険性があるため、避難経路看板を設置するなど、下水処理場横を横切らないように指導が必要である。</p>	<p>①今回の避難訓練のアンケート結果に、強化すべきところは堤防の強化という意見が多くありました。今後、上部機関に要請を行うことも必要と考えます。</p> <p>②避難経路の看板も含めて検討します。また、住民周知することとします。</p>

※参加者からの「避難訓練アンケート結果」は、村ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

■お問い合わせ
総務課総務担当
電話 56-2121